

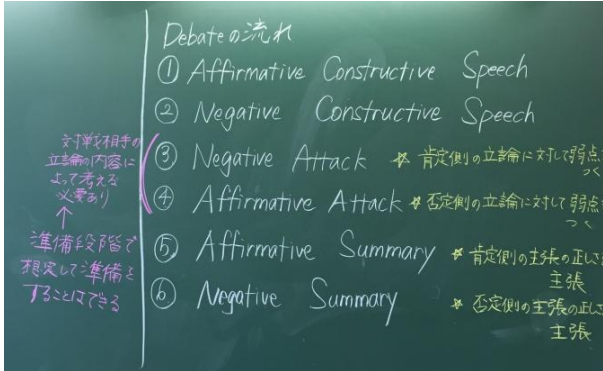


2016教育改革推進!!

AL授業実践レポート Vol.7

10月～12月 / 高1 / 英語

担当：金山先生

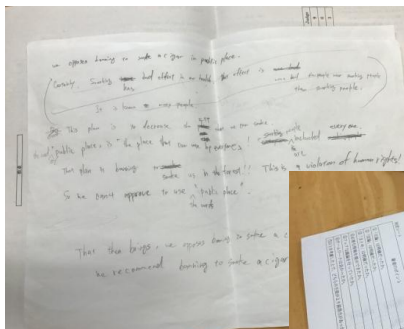


12/7,21ディベート本番!



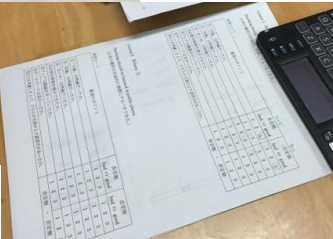
speaking listening

その場が「英語で話す」雰囲気になれば、拙い英語でも気負わず盛り上がる。ディベートというゲーム要素を取り入れたことで生徒たちはみな、「手持ちの英語力」で、「相手に伝えようとする意思」を持ち、「積極的に話し」「懸命に聞く」ことができた。



←直前まで必死に眺めていた原稿。ディベート中は見ませんでした!

ジャッジ用シート→リスニング力があれば書けるレベル。



Smoking should be banned in public places.

～ディベートまでの道のり～

STEP1: 自分の考えを書き出す (個人) **writing**

STEP2: 根拠+予想される反論を考える (グループ) **writing**



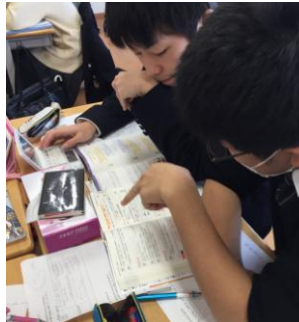
保健で学んだ「喫煙」の知識が生かされると気づき、有益なエビデンスを探す。

STEP3: 論を組み立てる (グループワーク) **writing**

何を根拠にどう述べていくか、主張に矛盾がないように検証しながら進めていく。手元にはすでに英語に直した「立論」とスピーチ例の英文がある。



STEP4: 英文づくりと発表シュミレーション **writing speaking**



言いたいことを英語に直していこうとすると、様々な「わからない」に出会う。「because から始めていいんだっけ? その代わりに使えるのって何?」そんな会話をしながら真剣に文法書と辞書を読み込む。そうやって「発見」「理解」した知識は、自分の経験とセットになって「長期記憶」になっていく。